

神戸高校生物班の活動

兵庫県立神戸高等学校自然科学研究会生物班
松井千佳 富田菜穂子 井上潮音 前田結衣 巽理沙

●こんな生き物を飼っています！



アカハライモリ

今年の5月長年飼っていたイモリの夫婦が不慮の事故でなくなってしまい、夏に新しい仲間としてやってきた。
まだ子供で、全長約6.5センチ。
餌は冷凍アカムシ。



アフリカツメガエルのお母さん

お父さんは水槽を飛び出し、亡くなってしまったが、お母さんは食欲旺盛で元気。
全長約9.5センチ(去年より約2.5センチ成長)。
餌は鶏のレバー。



アフリカツメガエルの子どもたち

2年前に生まれた10匹の子ガエル。
個体差があるが、全長約2.5~3.5センチ。
母親に似て、食欲旺盛。
餌は冷凍アカムシ。



シマヘビ

顧問の先生が今年の夏、高校周辺から拾ってきた。
はじめは威嚇されたが、徐々に人間になれてきている。
これまでに2度の脱皮。脱いだ皮から推測して、
全長約105センチ。無毒。
餌は冷凍ピンクマウスを週1回。



●小学生・中学生との交流活動

8月2日(土) 神戸学院大学附属高等学校

近隣の小学生や中学生が約20人、その保護者が参加。
葉脈や葉脈標本の作成の仕方をポスターを使って説明したり、子供たちの手伝いをしました。

9月6日(土)、7(日) バンドー青少年学館

多くの参加者が見込まれるため、400人以上の材料をあらかじめ用意しました。多くの子供たちが訪れました。
今回は、前回の反省を踏まえて、子供たち向けのわかりやすい、植物の構造、道管や師管の役割など説明プリントを作成し配布しました。

多くの子供たちに植物の構造の緻密さと美しさを知ってもらえることができ多様に思います。子供たちに説明したり、質問に答えたりしたことで、私たちにもよい経験になりました。

